

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしあたり

第111号



〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

遊女と愛国（学習センター所長 吉川 栄治）	1
地政学ブームについて（学習センター客員教員 秋山 元秀）	2
謝辞（教養学部 生活と福祉コース 吉田幸一郎）	3
退任教職員の挨拶	4
客員教員の紹介	5
滋賀学習センターの勉強会のご案内	7
事務室からのお知らせ	9

放送大学 滋賀学習センター



放送大学
滋賀学習センター
卒業証書・学位記授与式

遊女と愛国

学習センター所長 吉川 栄治

酒宴は深夜に及び、音楽と歌声は朝まで続いた。好風は酩酊し、ずっと歌い踊っている。一同眼が冴えついに徹夜となった。遊女数人がきて陪席する。好風は「私は交野の少将だぞ」とふざけながら、何度も遊女の胸をまさぐり口を吸う。卑猥な言葉を連発し、子細に書くのはばかられるほどだ。

平安時代の漢文日記「競狩記」の一節である。遊女という語の初出例であり、最古のキスの記録でもある。ときは西暦898年、ところは大坂府交野の付近。鷹狩の後の宴会の場面で、座に居並ぶは菅原道真ら廷臣たちと宇多上皇、そして日記筆者の紀長谷雄である。衆目のなか遊女と痴態をくりひろげる平好風は、有名な色好み平中の父で桓武天皇のひ孫にあたり、このとき五十歳前後と思われる。

文中の「交野の少将」は、美男の少将が交野で郡司の娘と一夜を共にする物語をさす。その主人公を気取り遊女を一夜妻に見立てたざれごとで、好風の泥酔ぶりがわかる。上皇の宴会に遊女が参入したガのはずれた様子には驚かされるが、長谷雄は後年、上皇御所で飲みくらべを命じられた貴族たちが昏倒し嘔吐するさまも記録している(「亭子院賜飲記」)。『大和物語』の説話によれば、あるとき宇多上皇が離宮の宴会に呼んだ遊女の父親は貴族だったというから、当時の宮廷の享樂ぶりが察せられ、好風のふるまいが格別異様なわけではなかったとも考えられる。のちの後白河上皇は江口の遊女だった丹波の局を寵遇し、後鳥羽上皇は白拍子亀菊に所領を与え承久の乱の一因にもなった。ともに産まれた子を親王に列している。

西国との交通路、淀川河口に近い江口(現大阪市東北端)の情景を、文人大江匡房は次のように描写した。

川岸には娼家が軒をつらね、遊女が群れをなして小舟に棹さし往来の船にとりついて客を引く。その美しい声と音曲に旅人は家路を忘れる。洲には葦が生い茂り、浪が花のようにひるがえる。釣り舟や商いの船が川面を埋め尽くし、まさに天下第一の楽園である。上は公卿から下は庶民まで遊女と枕を共にしない者はなく、妻妾となり終生愛される者もいる。東三条院の住吉参詣の折には太政大臣道長が遊女小観音を愛し、上東門院参詣の折は太政大臣頼通が遊女中君を愛した。(『朝野群載』所収「遊女記」)

『樹滴』107号で、川端康成の『伊豆の踊子』と『雪国』をとりあげた。どちらも作家の実体験にもとづく小説で、女主人公には実在のモデルがいることにふれ、最後にこう付け加えた——「悲しいまでに美しい小説のこのヒロインたちは芸と身体を売るいわば賤業民で、しかもそれが主人公と繊細な感情をかよわせる障壁になっていない。この日本的な風土をキリスト教圏の読者が理解するのは容易でないが、そういう社会と男女のありようは現代日本人にももはや異文化とってよい」。

大伴旅人と交情した遊行女婦の児島、西行を感動させた江口の遊女、平清盛の愛妾祇王と仏御前、近松心中物のお初や小春、そして『雪国』の駒子にいたるまで、娼妓は人間性豊かな物語の主演を演じ、ときに菩薩や天女にもたとえられた。しかし、その裏に貧困と蔑視が横たわっていたのはいうまでもない。

酒盛りと買春は根強い日本の「伝統」である。明治の芸娼妓解放令は外国向けのポーズだったし、戦後の売春防止法も周知のザル法だ。貞操観念が薄く婚外交渉に寛容な国民性は、欧米諸国から淫蕩で不道徳と批判されたが、明治以降人身売買と強制売春はむしろ陰惨さを増し、農村の娘の身売り、からゆきさん、従軍慰安婦を生んだ。政財界では妾が蔓延し、皇室の側室制度が廃止されたのもようやく昭和である。

第一次安倍政権下の2006年、教育基本法に「伝統と文化を尊重し」「我が国と郷土を愛する」という復古的条文が加えられた。しかし、歴史は捏造・改竄・隠蔽・忖度なく、ありのままに継承されねばならない。売春と愛国心との関係について、伝統と文化に造詣が深い首相の見解を拝聴したいものである。

地政学ブームについて

学習センター客員教員 秋山元秀

今、地政学がブームになっている。新聞レベルではあまり見かけないが、各種雑誌・週刊誌の類では、地政学がタイトルになっているのも珍しくない。直近の例では、『週刊ダイヤモンド』3月2日号が「人類欲望史1万3000年で読み解く相場・経済・地政学—今が全部ヤバい理由」という特集を組んでいる。一見、地政学がヤバいのかと思ったら、現代世界が危機を迎えており、それを読み解く視点に地政学があるというもので、地政学が断罪されているわけではなかった。

地政学という用語が一般に使われるようになったのは最近である。日本で地政学を一般的な書物のタイトルにしたのは1984年に出た中公新書の『地政学入門』（曾村保信著）が初めてではないかと思うが、アマゾンで、地政学をキーワードにして検索すれば、専門書風のものから、いかにもキワモノ的なものまで、汗牛充棟ぞろぞろ現れる。いくつか書名だけをあげてみると、曰く「戦略の地政学—ランドパワーvsシーパワー 覇権ゲームの時代を地政学で読み解く」、曰く「あなたも国際政治を予測できる！最強兵器としての地政学」など。世界情勢を理解するのによほど便利な思考法とされているかと思えば、「日本史の謎は地政学で解ける」などという応用編もある。

どうして地政学がこんなによく使われるようになったのだろうか。なぜこれを気にするかといえば、私の専門である人文地理学にとって、地政学という分野は一面たいへん魅力的であっても、他方きわめて敏感な問題をもっているからである。というのは、地政学は19世紀末から20世紀にかけて、政治・軍事を地理と関係づけて論じようと、ヨーロッパで発達した学問であるが、ドイツで地政学を大成したハウスホーファーという地理学者は、国家を生命体と同じようにとらえ、国家は発展過程で必要とする資源や人口を確保するために、空間的にも成長＝拡張していく必要があるとして、その圏域をレーベンスラウム(生存圏)と称した。この理論を実際に応用したのがヒットラーで、ナチスの方針としてゲルマン民族の生存圏確保のために欧州全域を侵略した。

ハウスホーファーには『太平洋地政学』という著作もあり、日本との関係も深く、日本の南洋進出の理論的根拠を与えたといわれる。その影響を受けて戦時中、日本で地政学研究を進めたのが京都大学の地理学教授であった小牧実繁氏で、私はいわばその孫弟子にあたる。しかし戦後はその研究が戦争協力に当たると認定され、京都大学の地理学教室は教授以下全員が教職追放になった。日本の地理学界ではそれ以来、地政学という語句は禁句であり、現在、地理学界では政治地理の専門家はいても、地政学を標榜する人はいない。

しかし地理、すなわち地形・地勢や気候などの自然条件が、狭い意味での軍事行動を規定したり、広い意味での民族の動きに影響を与えたりするのは当然である。それは近・現代に限らず、歴史をさかのぼっても明らかである。過去現在を通じて国際関係を理解するために地理が重要なことはいままでもない。いま学習センターのセミナーで資治通鑑の漢武帝紀を読んでいるが、その中でもしばしば地理の重要性が示されているし、舞台としての地理を正確に知ることによって歴史全体の理解が一層深まる。

私の好きな国際問題ジャーナリストにロバート・カプランというユダヤ系アメリカ人がいるが、その著作に“The revenge of geography: what the map tells us about coming conflicts and the battle against fate”(2012)というのがあるのだが、これが日本で翻訳されると『地政学の逆襲—「影のCIA」が予測する覇権の世界地図』になってしまうのである。なぜ「地理学の復権」と素直に訳さないのか。

謝 辞

教養学部 社会と福祉コース
卒業生代表 吉田 幸一郎



本日は私たち卒業生のために、このようにすばらしい式典を挙げて頂き、誠にありがとうございます。吉川所長はじめ、ご多忙にもかかわらずご出席いただいた皆様に、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

私達がさまざまな環境を乗り越えこの卒業という喜びのステージに立つことができましたのも滋賀学習センター、吉川所長をはじめ、熱意を持ってご指導頂いた先生方、ご親切に対応くださいました事務所の皆様方、そして仲間や友人達、暖かく支えてくれた家族のお蔭であると深く感謝申し上げます。

私は、放送大学に1999年に入学し20年在学してきました。その間に教養学部3コース、大学院1コースを卒業し、歴史や教育、心理学を学んできましたが、今回卒業しました「生活と福祉」コースでは、「介護」という言葉が奈良時代から存在し、「養老律令 戸令11給侍条」で国家の救済制度が設けられ、90歳には2人、100歳には5人の介護者を給付することが規定されていたことを知り、このころにも100歳を超える人が存在したと、介護についてその対処方法がうたわれていた、ということも含め驚きを禁じえませんでした。そして、介護とは本当に幅が広く限定的でない分野であることもあらためて認識いたしました。

また、介護を必要とする家族を抱えている私は、勉強した理論を実践に役立てるまたとない機会でもあり充実した期間でした。

学生生活では、修士論文作成時、前立腺癌の宣告を受けましたが、資料収集のため国会図書館、大学図書館や県立・市立図書館を奔走し、論文を纏めることに頭が一杯で癌のことを考える暇が無く癌の虜にならずに治療が終わったことは幸いでした。また、隔月に東京でのゼミに参加していた時は自衛隊の幹部、文部科学省の職員、通信社の編集委員、高等学校の歴史教科書執筆者等現役で活動しているゼミ生とゼミが終わった後、飲み会等で交流がはかれたことは私の大きな財産となりました。さらに、十数年参加しております学友会等サークル活動では会社文化の異なる人々との交流がはかれ、リタイヤ後の私の人生は心身ともに充実し、サラリーマン時代とは全く異なったものとなりました。今更ながら放送大学学生生活で得たものの大きさに感嘆しております。

放送大学には設立目的として学則に「広く生涯学習の要望に応えることを目的とする。」とあります。今は、人生100歳の時代と言われております。今まで私が放送大学で培ってきたものをこれから社会に還元することは難しいですが、これまで心身ともに充実した学生生活をおくることが出来たことに鑑み残りの人生を健康に過ごし、健康寿命を少しでも伸ばし福祉に関する社会資本の節減に寄与できればと考え、今後は「社会と産業」コースに再入学し持続可能で豊かな社会を生きるための知識と技術を身につけたいと思います。

最後になりますが、放送大学のますますの発展とご臨席の皆様のご健康とご多幸を祈念して謝辞といたします。

退任教員の挨拶

退任にあたって

井上 辰樹



5年前、当時のセンター長であった佐藤尚武先生のお誘いで放送大学との関わりが始まりました。今考えてみると佐藤先生は、この放送大学のある龍谷大学瀬田学舎の運動・スポーツ設備を活用した授業展開を意図して瀬田学舎に在籍するスポーツ系科目担当教員の僕に白羽の矢を立てたのではないかと推察します。実際、初めての勉強会で生徒の皆さんとお話したところ、ほとんどの方で健康づくりに関わる実技・実習形式が期待されていることを実感しました。当初は自由参加形式の勉強会のスタイルに戸惑いもありましたが、意欲的な生徒の皆様に助けられ、楽しく行うことが出来ました。20代前後の大学生を対象とした授業とは展開は随分と異なり、意欲的、積極的な「横やり」が多く、ほとんどの会で授業が脱線しました。しかし、脱線がそのままメインの流れになっていくという、なんとも新鮮で愉快的な経験でした。シラバスに縛られないライブ形式の授業も好いものです。さて、この5年間多くの方に助けられました。特に滋賀学習センター所長並びに職員の皆様、ご協力ご支援いただきここにお礼を申し上げます。ありがとうございました。最後になりましたが、放送大学の今後のますますのご発展を祈念してお礼を申し上げます。ありがとうございました。

退任職員の挨拶

■事務長： 甲野 浩史

早いもので、皆さんとお出合いをさせていただき、3年の月日が経ちました。母体校とは全く異なる、貪欲とも言える学習意欲に、放送大学の存在意義を感じさせていただきました。また、サークル活動に情熱を燃やし、コミュニティの中で光を放っている皆さんの姿に、何度も元気を頂戴しました。本当に、ありがとうございました。

■教務担当： 佐藤 真希

3月末で退職することとなりました。1年半と短い間でしたが、とてもたのしい思い出をたくさん作ることができました。つたない作品でしたが、かいつぶり文化祭に出品させていただいたり、研修で1科目受験し、とても苦しんだり。学生の皆さんを心から尊敬しました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。まずは出産頑張ります。

■広報担当： 西村 育郎

恥ずかしながら私自身を含めて、県内では放送大学のことがあまり周知されていないとよくわかりました。同時に、日々修学に励んでおられる皆さんの口コミこそが広報の威力になると確信しました。私も放送大学の良さ、そしてそこに学ばれる皆さんの魅力を機会があるごとに発信していきます。3年間お世話になり、ありがとうございました。

客員教員の紹介

秋山 元秀 先生



歴史と地理は密接にからみあっています。ある土地の歴史は、土地の風土がその基盤にあり、地域の特徴は歴史の中で作られたものです。歴史は地理に刻まれ、地理が歴史の舞台になります。歴史地理というのは、このからみあいを解き明かそうとするものです。ここしばらくセミナーで中国の歴史書、資治通鑑の漢武帝紀を読んでいます。漢がなぜ匈奴と戦うことになったのか、なぜ南方に進出して夜郎自大などというエピソードが生まれたのか、そのころの朝鮮半島はどうだったのかなど、歴史地理にかかわる問題がたくさん出てきます。一枚の地図には一瞬の出来事だけではなく、長い歴史も刻まれています。それを読み解いていく楽しみが地理学にはあります。

【滋賀大学名誉教授／専門分野：歴史地理学・人文地理学】

石田 法雄 先生



勉強会では、ポップソングを聴いたり、英語クイズを解いたり、簡単な英会話をこころみたり、道元思想を英訳と共に講読したり、東洋思想を宗教学の立場から論じたりしてきました。

今年度が客員教員として最後の年となり、勉強会もセミナーとなり、「仏教英語入門セミナー」を開催します。仏陀の生涯、*buddha*、仏の三身、縁起、三法印、四諦八正道、仏法僧を年間20数回に分けて開講します。仏教思想は、英語で学習すると分かり易いことがよくあります。

毎回の学習会は、1) イングリッシュ・レクチャー、2) 日本語での解説、3) 日英での懇談・討論会の3つに分けて行います。各回の学習会にはそれぞれのテーマがあります。毎回の継続的な参加が望ましいのですが、時間の都合のつくときの参加も可能ですので、自由にご参加ください。時に英文法の解説も予定しています。

【滋賀県立大学名誉教授／専門分野：宗教学・英語英文学】

川中 大輔 先生



社会が大きく変化する中で、20 世紀社会につくられた多くの仕組みが十全に機能しなくなっていることは既によく知られていることです。では、全ての人々が幸せに生きていくためには、どのような仕組みを新たに創り出していけばよいのでしょうか。この問いに対して社会的に探究し、具体的な実践を構想していく社会デザイン研究が私の専門です。特に市民社会からのイノベーションに関心を寄せており、現在は社会イノベーターと呼ばれる人々の

成長過程に関する研究に取り組んでいます。今年度のセミナーでは、まちづくりの新たな方向性と課題について考えていくこととします。従来の固定観念からいかに自由になれるか。一緒にチャレンジして参りましょう。

【龍谷大学社会学部講師／専門分野：社会学】

梅澤 直樹 先生

専攻は経済学ですが、豊かさとは何か、経済とはどのような意味を持つ営みかといった問題に関心があります。経済学は、希少な資源の最適配分といった効率性と切り離しがたい学問と解されがちですが、たとえば平日の私たちの活動の最大時間を占める労働がもたらそうした効率性に縛られた営みだとすれば寂しくありませんか。むしろ、自らの個性を發揮し、また錬磨して働きがいを感じ、あるいはその成果が消費者に喜んでもらえることで社会の一員としての自らの価値を確かめられるような時間であってほしいですね。少しでもそれに近づくことのできる社会のあり方とはどんなものだろう、そういったことを皆さんと考えてゆけたらと願っています。

【滋賀大学名誉教授／専門分野: 社会経済学】

兼重 努 先生

客員教員を拝命して2年目となりました、兼重努と申します。引き続きよろしくお願いします。

本務校の滋賀医科大学では教養教育を担当しています。専攻は文化人類学。中国の少数民族文化、風水思想、積徳行、文化遺産などを研究しています。

本年度第一期の中国研究セミナーでは、『中国の異民族支配』（横山宏章著、集英社新書）を読みすすめ、近代中国における漢民族による異民族(=少数民族)支配の論理について学んでいきます。

私は、トン族というタイ系の少数民族を対象に中国南部の村で長期のフィールドワークを行ってきました。折に触れて、その時の経験を皆さまに紹介できたらと思っております

【滋賀医科大学教授／専門分野: 文化人類学】

藤原 学 先生

昨年度に引き続き、本年度も客員教員を務めさせていただきます。専門はX線を中心とした機器分析化学です。よく分析されている金属化合物だけでなく、考古試料、環境試料、生体試料とさまざまな物質を研究対象にしています。2019年度第一学期は「現代化学セミナー(電子から化学を学ぶ)」、第二学期は面接授業「電子から見た化学の世界」を行い、電子の観点から化学という学問を考えていきます。すべての化学物質は、原子核(陽子と中性子)と電子から構成される原子やイオンのみからできており、化学物質の中では電子が重要な働きをしています。

一年間皆さんとともに、新しい化学を勉強していきたいと思っております。よろしくお願いします。

【龍谷大学教授講師／専門分野: 機器分析化学】

セミナー のご案内

滋賀学習センターの所長・客員教員が開催する学びの場です。受講は無料で、放送大学の学生、一般の方どなたでもご参加いただけます（一般の方は1つのセミナーだけ参加できます）。電話・窓口でお申し込みください。

以下の日程は急遽変更になることがあります。滋賀学習センターWEB ページ及び掲示板でお知らせしますので、ご確認ください。



古典入門セミナー 「古今集の世界」

吉川 栄治 先生

昨年は恋歌を読みました。今年1学期は四季・離別・旅・哀傷の歌などを读みます。そして、『古今集』は1学期で終了し、2学期はこれまで面接授業などで紹介したさまざまな作品をオムニバスで読む予定です。

4月 9日(火) 10:30~12:00	4月 23日(火) 10:30~12:00
5月 14日(火) 10:30~12:00	5月 28日(火) 10:30~12:00
6月 11日(火) 10:30~12:00	6月 25日(火) 10:30~12:00



中国史講読セミナー 「資治通鑑を読む」

秋山 元秀 先生

中国における歴史書として名高い資治通鑑を、実際に原文で读みます。舞台は漢の武帝の時代です。

4月 10日(水) 10:30~12:00	4月 24日(水) 10:30~12:00
5月 15日(水) 10:30~12:00	5月 29日(水) 10:30~12:00
6月 12日(水) 10:30~12:00	6月 26日(水) 10:30~12:00



仏教英語入門セミナー 「ちょっと英会話」

石田 法雄 先生

仏教思想を英語で講義し、日本語で解説し、討論を行います。諸行無常の英訳は Everything is changing. です。系統立てた講義ですが、毎回テーマがありますので自由に参加して下さい。

4月 19日(金) 13:30~15:00	4月 26日(金) 13:30~15:00
5月 17日(金) 13:30~15:00	5月 31日(金) 13:30~15:00
6月 14日(金) 13:30~15:00	6月 28日(金) 13:30~15:00



経済学セミナー 「経済とは人間にとってどのような意味をもつ営みななのだろうか」

梅澤 直樹 先生

松嶋敦茂他『現代経済学史の射程』から、サブタイトルに対応した経済学者たちを紹介した諸章を選び、ゆっくり読みながら、成熟段階にある日本経済のめざすべき将来像をみんなで考えたいと思います。

4月 17日(水) 10:30~12:00

5月 8日(水) 10:30~12:00

5月 22日(水) 10:30~12:00

6月 5日(水) 10:30~12:00

6月 26日(水) 10:30~12:00

NO
IMAGE

中国研究セミナー 「中国の異民族支配について学ぶ」

兼重 努 先生

『中国の異民族支配』(横山宏章著)を読みすすめ、近代中国における漢民族による異民族(=少数民族)支配の論理について学びます。本書を読んで質問をお寄せいただき、兼重がお答えする形ですすめていく予定です。

4月 9日(火) 13:30~15:00

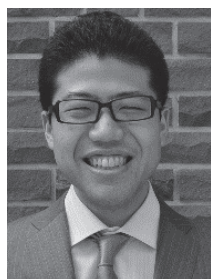
4月 23日(火) 13:30~15:00

5月 14日(火) 13:30~15:00

5月 28日(火) 13:30~15:00

6月 11日(火) 13:30~15:00

6月 25日(火) 13:30~15:00



コミュニティ・デザイン研究セミナー

「21世紀社会におけるまちづくりの課題」

川中 大輔 先生

まちづくりを巡る社会環境が変化し、従来のカタチには限界が見られてきています。にも関わらず、一層の拡充・推進が期待されています。この中でどのような実践を構想していくべきだろうか。この問いについて考えていきましょう。

4月 12日(火) 13:30~15:00

5月 10日(火) 13:30~15:00

6月 7日(火) 13:30~15:00



現代化学セミナー 「電子から化学を学ぶ」

藤原 学 先生

化学は、物質の構造や性質について研究する自然科学の一つです。そこでは電子が大きな役割をしており、現代の化学を理解するには電子の観点から学ぶ必要があります。電子の世界から化学を学んでいきましょう。

4月 16日(火) 10:30~12:00

5月 14日(火) 10:30~12:00

6月 18日(火) 10:30~12:00

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第1学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システムWAKABAに登録されていることが必要です。大学本部での登録後、学習センターで発行することになります。
- * 学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。
- * 有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センターに返還してください。
- * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

☆詳しくは、「学生生活の葉」学部:18頁～20頁、大学院:24頁～28頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「入構許可申請書」は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。「入構許可証」を発行します。
- * 入構許可証は発行年度のみ有効です。

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生のみ利用できます。選科ならびに科目履修生は利用できません。

① 自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。

- * JR西日本(2割引) 瀬田まで購入可
- * 京阪電車(2割引) 京阪山科・皇子山・京阪膳所・京阪石山まで購入可
- * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
- * 有効期限は、発行日から1ヶ月です。

② 自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため・大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道100kmを超える場合のみ)

< 科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。 >

- * JR(2割引) 例: 瀬田→(米原経由)→海浜幕張
- * 有効期限は、面接授業等の初日の10日前から終了日の5日後です。

☆詳しくは「学生生活の葉」学部:130頁～132頁、大学院:114頁～115頁を参照ください。

インターネット配信・インターネットラジオについて

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからないWi-Fi環境等での視聴を推奨します。

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ)もご利用いただけます。

詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

放送教材(DVD・CD)の郵送貸出しによる学習について

ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

★詳しくは「学生生活の葉」 学部:33頁～35頁、大学院:44頁～47頁を参照ください。

■貸出し期間及び貸出冊数

貸出し期間:14日間 貸出し数: 5枚以内

(発送作業は平日のみです。土・日・祝休日および年末年始、特別整理期間(2020年3月19日～2020年3月31日)は発送しません。)

■貸出しすることができる放送教材

学期の初めから単位認定試験期間終了まで	単位認定試験期間の翌日からその学期の終了まで
<ul style="list-style-type: none"> ・履修している科目 ・再試験を受験する科目 ・特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・開講中(第1学期は閉講後再試験科目を含む)のすべての科目 ・特別講義

図書・再視聴室の利用について

図書・再視聴室は図書資料や印刷教材(教科書)を書架より自由に取出して閲覧できます。また、放送教材は登録科目にかかわらずどの科目でも、受付で許可を得てDVDプレーヤーやタブレット端末を使用して、任意の時間に視聴・授業の個別学習ができます。

■利用時間 : 9:15～17:45 ○大学院・学部単位認定試験中は利用時間が拡大されます。

■図書資料の貸出について

・2019年4月から、学習センターの図書の貸出しは行いません。貸出しを希望する場合は大学本部の附属図書館を利用することになります。

・詳しくは「学生生活の葉」(P114)もしくは附属図書館のホームページ(<http://lib.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。

■閉室日 : 毎週月曜日・祝祭日、9月24日～9月30日、2020年3月25日～3月31日

■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

長浜教室(再視聴施設)の利用について

長浜文化芸術会館のご協力を得て、館内に滋賀学習センター再視聴施設(長浜教室)を設けています。設置してある放送教材と視聴機器を使っていつでも利用できますので、施設の利用規則を遵守して、授業の個別学習などにお気軽にご利用ください。利用する場合は必ず学生証を提出して受付にお申し込みください。また、放送教材の配架を希望する場合は滋賀学習センターまでご連絡ください。



スケジュール



4 月			5 月			6 月		
日	曜	内 容	日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	月	閉所日 第1学期放送授業開始(～7/18) 集中科目履修生募集要項配布(看護、司書教諭)	1	水	閉所日(新天皇即位に伴う祝日) 集中科目履修生出願受付・在学生科目登録(看護、司書)	1	土	面接授業
2	火	滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～4/20)	2	木	閉所日(国民の祝日)	2	日	面接授業
3	水		3	金	閉所日(憲法記念日)	3	月	閉所日
4	木		4	土	閉所日(みどりの日)	4	火	通信指導提出期限
5	金	オンライン授業開始(～9/2)	5	日	閉所日(こどもの日)	5	水	【セ】梅澤10:30
6	土		6	月	閉所日	6	木	
7	日		7	火		7	金	集中科目履修生(司書教諭)受付締切 【セ】川中13:30
8	月	閉所日	8	水	【セ】梅澤10:30	8	土	
9	火	【セ】吉川10:30 【セ】兼重13:30	9	木		9	日	
10	水	【セ】秋山10:30 教員免許更新講習生受付開始(～5/17)	10	金	【セ】川中13:30	10	月	閉所日
11	木		11	土	面接授業	11	火	【セ】吉川10:30 【セ】兼重13:30
12	金	【セ】川中13:30	12	日	面接授業	12	水	【セ】秋山10:30
13	土	面接授業 第1学期面接授業空席発表	13	月	閉所日	13	木	
14	日	面接授業	14	火	【セ】吉川10:30 【セ】藤原10:30 【セ】兼重13:30	14	金	【セ】石田13:30
15	月	閉所日	15	水	【セ】秋山10:30	15	土	面接授業 第1回出願受付開始 大学院の博士と修士、全科生募集要項配布(～8/31) 第2学期、大学院の修士選科・科目と学部の学生募集要項配布
16	火	【セ】藤原10:30	16	木		16	日	面接授業
17	水	【セ】梅澤10:30	17	金	教員免許更新講習生受付締切 【セ】石田13:30	17	月	閉所日
18	木		18	土	面接授業	18	火	【セ】藤原10:30
19	金	第1学期面接授業追加登録開始 【セ】石田13:30	19	日	面接授業	19	水	【セ】梅澤10:30
20	土	面接授業 滋賀大学附属図書館利用申請締切	20	月	閉所日	20	木	
21	日	面接授業	21	火	通信指導提出期間(～6/4)	21	金	
22	月	閉所日	22	水	【セ】梅澤10:30	22	土	面接授業
23	火	【セ】吉川10:30 【セ】兼重13:30	23	木		23	日	面接授業
24	水	【セ】秋山10:30	24	金		24	月	閉所日
25	木		25	土	面接授業	25	火	【セ】吉川10:30 【セ】兼重13:30
26	金	【セ】石田13:30	26	日	面接授業	26	水	【セ】秋山10:30
27	土	面接授業	27	月	閉所日	27	木	
28	日	面接授業	28	火	【セ】吉川10:30 【セ】兼重13:30	28	金	【セ】石田13:30
29	月	閉所日(昭和の日)	29	水	【セ】秋山10:30	29	土	面接授業
30	火	閉所日(国民の祝日)	30	木		30	日	面接授業
		【セ】セミナー	31	金	集中科目履修生(看護)出願受付締切 【セ】石田13:30			